



関 堯文

和歌山県立医科大学の呼吸器内科のポリクリの一環として二日間和歌山病院で実習をさせていただきました。

副院長の駿田先生の指導のもと、結核の隔離病棟で N95 マスクを実際に着用して病室に入ることでき、大学病院にはない貴重な経験をしました。隔離病棟は陰圧・陽圧による気流で菌の管理を行っており、自分が持っていた嚴重に閉鎖されているイメージとは違い、比較的解放的な空間でした。結核の感染様式や感染予防について教えてもらい、またそれを実践することでより感染に対する意識が高まりました。また院長の南方先生にはレントゲン読影の基礎を解かりやすく教えていただきました。今まで漠然と見ていたレントゲン写真を、きちんと意味を理解しながら読むことができるようになりました。また南方先生から習ったブロンコ体操は大学の実習に戻ってからも頭から離れなくなりました。

二日間と短い期間でしたが学んだことは多く、そして楽しく実習することができ密度の濃い実習でした。先生方から学んだことをこれからの実習、そして将来に活かせるようにしていきたいと思います。南方先生、駿田先生並びに諸先生方、二日間お世話になりました。ありがとうございました。